

所属・氏名（ 健康科学部 医療経営学科 氏名：橋村 政哉 ）

著書、学術論文等の名称		単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1	(著書) 「人的資本経営が実体を伴う ために必要なこと—日本企業 の経営方針および経営手法 の展開を手がかりに—」	共著	2026 年 3 月	晃洋書房	本稿は、『労務理論学会誌第35号 人的資本経営の意義と課題』に収録された著作である。2025年 6 月に名城大学で開催された労務理論学会第 35 回全国大会統一論題での報告内容をもとに、ファイナンス分野を中心に展開する企業の人的資本経営の現状を指摘し、課題である働く人々の充実に資するべく健康経営やウェルビーイング経営に投資をしてゆくことの重要性を示した。(掲載ページ:pp.45～57)
2	(著書) 『健康経営は職場にどのような 効果をもたらすのか』	単著	2024 年 9 月	現代図書	職場の従業員平均年齢の高まり、長時間労働をはじめとする労働課題、人手不足など現在の日本の職場にはこうした問題がある。さらに、社会全般では高齢者の医療、介護に関する 2025 年問題が言われている。いずれも国民の健康寿命の延伸のために向き合う必要のある内容であり、これらの問題に対処できるものとして健康経営が考えられる。健康経営は職場で働く人々の健康と生産性の向上に資するマネジメント手法である。今後においては社会の持続可能性のために、その実践がより重要になる。本書では健康経営が職場にもたらす効果を明確にし、それが広く社会に浸透することでプラスの影響がもたらされることを示した。(総ページ数:154)
3	(学術論文) 「健康経営の実践が職場にも たらす効果についての仮説試 論」	単著	2023 年 3 月	『HIU 健康科学ジャーナル』第 2 号, 広島国際大学健康科学部	本稿は、健康経営の実践が日本の職場にもたらす効果についての仮説試論を目的としている。既存の研究には、組織従業員の大小の違いを踏まえて比較することやコラボヘルスの視点がみられず、この点が課題と考えられる。そこで、健康経営優良法人大規模法人部門および中小規模法人部門に認定されている先進的な 2 社を取り上げて比較考察し、健康経営の効果についての仮説を提示した。(掲載ページ:pp.1～10)
4	(学術論文) 「健康経営に関する諸研究の 考察と今後の課題」	単著	2021 年 4 月	『広島国際大学医療経営学論叢』第 14 号, 広島国際大学健康科学部医療経営学科	本稿は、近年の日本で広まりつつある健康経営に関するいくつかの先行研究を取り上げて考察し、今後の課題を示すことを目的としている。先行研究には経営学および医療の視点からの研究がある。考察を踏まえ、健康経営の取り組みにおけるコラボヘルスの有効性について論考を発展させてゆくことを今後の研究課題として示した。(掲載ページ:pp.1～12)
5	(資料・紹介) 「健康経営の広まりと人的資 源管理への効果—保険者(協 会けんぽ)の視点からの考察 —」	単著	2020 年 10 月	『日本労務学会誌』第 21 巻第 1 号, 日本労務学会	本稿では、日本で最大規模の医療保険を営む保険者である協会けんぽ(全国健康保険協会)の健康経営がどのような取り組みであり、どのように今後の方向づけを図ろうとしているのかを探り、保険者の視点から健康経営が企業の人的資源管理へどう影響しうるかを広島支部への聞き取りをもとに考察した。(掲載ページ:pp.37～47)